

風戸研究奨励会 第12回〈風戸賞〉受賞講演会

開催報告

公益財団法人風戸研究奨励会（理事長 廣川 信隆）は、2019年6月17日（月）、公益社団法人日本顕微鏡学会第75回学術講演会（名古屋国際会議場）内にて、第12回〈風戸賞〉受賞講演会を開催しました。

当日は、日本顕微鏡学会の方をはじめ、企業や研究所、市民の方など、多くの方々にご来場いただきました。

講演会は以下の内容で行われ、参加者の皆様から積極的なご質問があり、受賞講演会への関心の高さが伺えました。

ご参加いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。

理事 挨拶



高柳 邦夫（東京工業大学 名誉教授）



特別講演

演題：「我が国の研究力向上について」

文部科学省 研究振興局 振興企画課
学術企画室長 春山 浩康 様

特別講演

演題：「電子顕微鏡をはじめとする
各種顕微鏡が切り拓いた生殖神経内分泌学の軌跡」

日本医科大学 大学院 医学研究科
教授 小澤 一史 様



第12回〈風戸賞〉受賞講演

荒川 聡子 様



研究課題：

「超微形態学を用いた
新規オートファジーの発見」

東京医科歯科大学
難治疾患研究所
講師

杉本 宜昭 様



研究課題：

「原子間力顕微鏡（AFM）を用いた
単原子分子の計測・制御技術の開発」

東京大学 大学院
新領域創成科学研究科
准教授